

2024年（令和6年）4月1日

福相小学校 校長 柳原 伸一

1 文部科学省 《学習指導要領》

主体的・対話的で深い学び～「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「何ができるようになるのか」「学びに向かう力」→予測が困難な時代に対応可能な「生きる力」の育成

主体的 : 児童が意欲をもって学習にあたる

対話的 : 先生からの一方的な授業ではなく、学び手の児童が、相互に聴き合い、学び合う

深い学び : 自己の考えを深める（自分だけではわからなかった見方や考え方）

2 広島県教育委員会 《広島版「学びの変革」アクションプラン》

広島で学んだことに誇りを持ち、胸を張って「広島」「日本」を語り、高い志のもと、世界の人々と協働して新たな価値（イノベーション）を生み出すことのできる人材

資質・能力の育成 : 変化の激しい社会を生き抜くことのできる

知識、スキル、意欲・態度、価値観・倫理観

そのための

主体的な学び : 学習者基点、能動的な学び、深い学び

3 福山市教育委員会 《福山 100NEN 教育》

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる

福山100NEN 教育 9th year

記号設置

4 芦田中学校区

子ども像 ふるさと芦田に愛着と誇りを持ち 未来を切り拓き、たくましく生きる児童生徒

研究テーマ 児童生徒主体の学びの創造

21世紀型 課題解決・意思決定、コミュニケーション、思いやり
スキル&倫理観

(育てたい資質・能力)

5 福相小学校

(1) 学校教育目標 自ら学び 心豊かで 生き生きと活動する子どもの育成

～自主・協働・創意工夫～

自主	: 自分の判断で行動すること
協働	: 同じ目的のために、力を合わせて働くこと
創意工夫	: 改善への意欲と手立てを周りの人に示すこと

(2) 学校経営理念

自校の使命 (ミッション)

地域に誇りをもち 目標をもって 主体的に活動する子どもの育成

自校の将来像 (ビジョン)

自分が好き, 友達が好き, 学校が好き, 芦田が好きと言える児童が育つ学校

(3) 学校経営方針

すべての子どもの成長を信じて, “任せる, 鍛える, 支える”

～子どもの背中を押し, 自信をもたせる あたたかみのあるかかわり～

(4) 方略

① 様々な場面で児童の成長の場として位置付ける

○ 児童の挑戦意欲と自己肯定感の向上へのアプローチ

児童は, 目標を持ち, 粘り, やりきる

振り返りを行い, 自己の成長を見取る

先生は, 児童が考えたことが行動できるように支える

つまずき・困り感を把握し, 手立てと支援を

○ 高まり合う学級集団へのアプローチ

児童は, 活動を通して相互理解, 共感的人間関係を学ぶ

先生は, 高まり合う支持的な学級風土を醸成する

児童の素晴らしい行動からその内面を見る目を鍛える

② 教職員として, 自らの研修の充実をめざす

○ 学校経営方針に照らした学校全般に関する業務や学級経営 (事務, 給食等) を立案する

“任せる, 鍛える, 支える” に尽きる

○ 児童の姿を他の教職員と交流し, 具体的な手立てを講じる

児童に任せるために, どのようなことをするのか など

③ とともに高まり合う職場をつくる

- 相談できる管理職になる
改善に向けた提案ができる教職員の関係を構築する
困ったときこそ支える、仲間として働いていることを自覚する
- 確実な報告、連絡、相談、確認を！！
チーム福相小として組織的な動きと信頼される学校
- 分掌及び校内委員会の計画的な実施と教材研究の時間確保を！！
働き方の改善に向けて、日々の業務の見直しを進める
- 「鍛え合う」集団になる
互いの気づきを伝える、風通しの良い職員集団をめざす
不祥事“0”，子どもは，“私たちの姿を見て育つ”を忘れずに！！

④ ユネスコスクールとしての取組の充実（2022年（令和4年）認定）

- ESD教育の推進
地域人材の活用や地域の教材化
SDGsの目標を意識した教育課程の編成，単元開発
生活科，総合的な学習の時間で，「課題発見・解決学習」の充実
教科横断的な単元構成とカリキュラムマップ編成

【SDGs17の目標】

本校の重点

- 1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに **3 すべての人に健康と福祉を**
 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう **11 住み続けられるまちづくりを**
12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を
 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう **16 平和と公正をすべての人に**
 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

⑤ スクール ローズ ガーデン プロジェクト
School Rose Garden Project

趣旨：2025年（令和7年）に福山市で開催される「世界バラ会議（※）」を学びの場・機会として，教科横断的に探究するカリキュラムを編成・実施し，福山のまちづくりに参画することを通して国際理解を深めるとともにローズマインドを育む

募集：小中義務教育学校 40校程度

期間：2023年度（令和5年度）から3年間

内容：実施校共通の取組（済み）

参加国のばら（10株）を，地域の方や学校技術員の協力を得ながら栽培

- ・ ばらの株は，市教委から配付。(植え付けは，12月～1月の予定)
- ・ 事前の花壇づくりや栽培準備など，必要に応じて学校技術員が協力

実施校独自の取組

各学校で総合的な学習の時間やふるさと学習の単元(テーマ)・活動等と関連付け、「ばらのまち福山」や「世界バラ会議」を題材にした探究的な学習のカリキュラムを編成し，特色ある教育活動に取り組む

方法

- ・ 単元の時数，実施学年等は各学校で決定する。
- ・ 委員会活動として年間計画を立て，取り組むこともできる

⑥ GIGA スクール構想の取組(1人1台端末の活用)

「子ども主体の学び」をベースに，教員が，常に端末活用の時間や内容を決めるのではなく，子どもたちが，判断・選択する学習者中心の活用を進める

《活用例》

検索サイトを活用した調べ学習

児童生徒同士の情報共有，保護者への情報発信

オンライン教材による，個人の学習速度や習得度に応じた学習

災害などによる学校休業における遠隔会議ツールの活用

Google Classroom の活用

☆「ロイロノート」の活用：個別最適な学びに向けた活用

☆学級閉鎖や出席停止児童への課題配信，オンライン授業配信の実施

※ 指導要録への別記の必要→健康観察簿への記録。

- ・ ジャストシステムのデジタル学習ソフトの導入

6 教育研究

(1) 研究主題

主体的に学び 学びのよさを実感する子どもの育成
～かかわり合い通して深い学びを実現する授業の創造～

関連用語：主体的で協働的な学び，学ぶ喜び，支え合う喜び，達成感
課題を見つけ解決に向けて挑戦する意欲

(2) 研究教科 道徳，生活科・総合的な学習の時間，算数

(3) 現状

- まじめに学習に取り組む児童が多い。各種の学力調査結果から基礎的な学力はおおむね定着している
- 授業に進んで参加し、友達の発表をしっかりと聞く等、学習への意識は高まってきた
- 授業等では、主体的、対話的で深い学びにつながる学びに取り組んでいる。ふるさと学習等では、自己肯定感を高める学習に取り組んでいる
- SDGsと関連づけた教科横断的なカリキュラムの編成と単元開発を行ってきた
- 児童が自ら選んだり決定したりする場、振り返りの場を大切にし、授業改善を進めてきた
- 研修では、年間計画を立て、導案検討、模擬授業を行ってきた
- 自らの考えを発表することに苦手意識を持っている児童がいる。自ら課題を設定し、学習を進めることへの抵抗感を持つ児童がいる
- 協働的なかかわりが苦手で、困難に直面するとあきらめてしまう児童がいる
- 今後、学力の定着に向けて、課題解決型の学習課題の設定、表現活動の充実、振り返りの場を大切にした授業をめざすことで、児童が主体的に学ぶ授業に改善する

(4) 研究内容

- ①表現、対話、自己理解の場を通した子ども主体の学びづくり
(理論研修・模擬授業研修・授業研修会)
 - ②SDGs(国連持続可能な開発目標)と関連づけた教科横断的なカリキュラムマップ編成と単元開発
- <目指す授業の姿>

- ・児童の疑問、興味関心から解決したい思い(学習課題)を大切にした授業
- ・児童が考えを表現する場、協働して考える場を大切にした授業
(ペア、グループ活動)
- ・児童が見方・考え方を深める問い(発問)やしかけがある授業
- ・児童が学びを自己認識したり、学びのよさを実感したりする、振り返りの場がある授業 など

7 働き方改革

- ・公立の義務教育諸学校の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)の改正ガイドライン→法規制
 - 1カ月の超過勤務45時間以内
 - 1年間の超過勤務360時間
- ・福山市教育委員会2018年(平成30年)8月策定「学校における働き方改革取組方針」策定(2018年度(平成30年度)~2020年度(令和2年度))

- ・ 2022（令和4）年度～2027年度（令和8）年度の取組方針改定
「授業づくりを行う 時間が確保されている」と感じる教員の割合が80%以上
長時間勤務の縮減…時間外勤務時間が月45時間を超える教職員が0人
1年間の超過勤務360時間以内
- ・「学校評価自己評価表」での目標
時間外勤務時間が月45時間以内の教職員100%
毎週1回以上の定時退校日を設け、実施できた教職員95%
※基本的に木曜日が定時退校日
時間外勤務時間が年360時間以内の教職員80%
- ・取組の方向
1週や月を見通した計画的な業務、退校時刻から逆算した計画的な業務
会議開始時刻の徹底、終了時刻の設定。見通しや案をもって会議を行う
退校時刻の設定と順守
※ 個人の都合でルールを破ることは組織としての弱さにつながる
※ 「定時退校の確実な実施」
勤務時間終了後30分以内に、90%以上の教職員が退校した状態をいう

1人1台端末を活用した働き方改革のさらなる推進
具体例（ソフト）を用いた研修を実施し、日常で活用を促す
※ 木曜日にPTAなどの会合を入れないことを基本とする
※ 17：30以降は留守番機能の設定

8 福相小学校における学校文化の構築

教育は人なり
「自ら、共に、『鍛える』『支える』」

福相小学校で引き継がれてきた良さを伝え、温かく指摘することで、お互いを鍛え合い、支え合い、高め合う学校文化を構築する。福相小学校に通う児童に愛情をもった教育実践を行う

教師と児童という主従意識の立場から同じ人間として対等な立場でのあたたかみのある指導、人間関係を構築する

教育公務員としての自覚を高める

- ・ 私たちの毎日の営み（仕事）が、未来になる

- 地域，保護者，職員間のあいさつ，接遇，言葉づかい
- 児童，保護者，地域から信頼される言動と服装
- 法令遵守，期限厳守，時間厳守

働きたくなる福相小学校づくり！

- 私の授業や取組で子どもが喜んでくれる，成長してくれる
- もっと授業づくりについて学びたい，相談したい，話したい
- 学校教育目標に向かって，自分のしていることが役立っていることを発見できる
- 私のことを，自分のこととして助け合い，励まし合い，大切にしてくれている人がこの職場にいる
- 雑談を含めて笑いが職員室にある